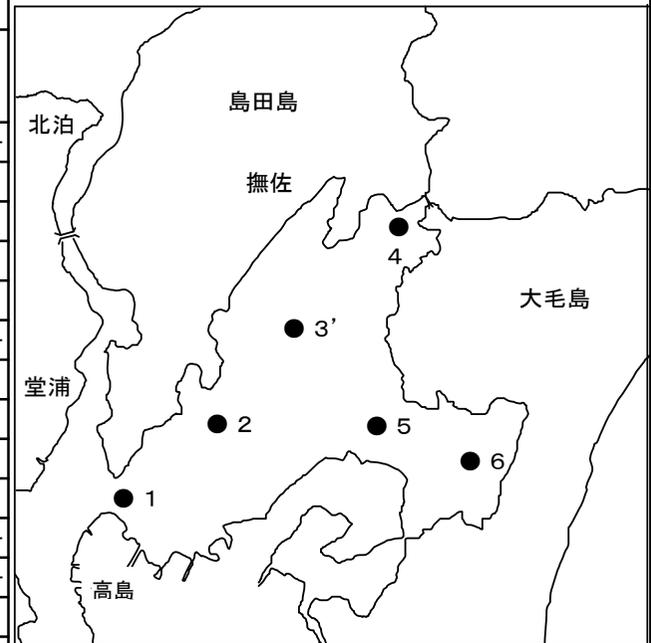


令和7年度 ウチノ海プランクトン調査（7月11日調査） 徳島県水産研究課

St.	採水時刻	採水層 (m)	水温 (°C)	塩分	透明度 (m)	細胞/mL				
						シャットネラ アンティーカ	シャットネラ マリーナ	シャットネラ 区分不能	シャットネラ オバータ	コクロディニウム ポリクリコイデス
1	09:04	0-5			4.8	-	-	-	0.01	-
		0	24.09	31.93						
		1	24.02	31.93						
		5	23.56	31.93						
		B-1	23.27	31.97						
2	09:08	0-5			4.8	-	-	-	-	-
		0	25.26	31.97						
		1	24.30	32.03						
		5	23.68	32.10						
		B-1	23.63	32.09						
3'	09:12	0-5			6.1	0.01	0.01	-	0.04	-
		0	25.04	31.88						
		1	24.32	32.04					0.25	0.12
		5	23.68	32.11					0.02	
		B-1	23.54	32.11						
4	09:18	0-5			4.9	-	-	-	-	-
		0	25.25	31.93						
		1	24.72	31.89						
		5	23.78	32.12						
		10	23.47	32.13						
5	09:23	0-5			6.0	-	-	-	0.02	-
		0	24.64	31.99						
		1	24.48	32.02					0.10	
		5	24.00	32.09				0.03	0.01	0.06
		B-1	23.38	32.08						
6	09:29	0-5			5.1	-	-	0.03	0.05	0.75
		0	24.47	32.01						
		1	24.31	32.04						
		5	23.69	32.12						
		B-1	22.88	32.07						



備考

・有害種のシャットネラ属(アンティーカ, マリーナ, 区分不能, オバータ), コクロディニウム ポリクリコイデスが検出されましたが低密度でした。

・珪藻はレプトキリンドルス属主体で前回調査時から減少しました。
珪藻細胞密度 : 65cells/ml (St.5 0-5m)